

平成 29 年度
専門学校静岡電子情報カレッジ 31 期生
静岡福祉医療専門学校 19 期生



の学生諸君

Congratulations on Your Graduation!!

理事長・校長 中村 徹

本学創立 31 年目、平成 29 年度卒業生の皆さん、
「卒業証書及び専門士の称号」授与おめでとうございます。
本学での学生生活の集大成として、皆さんのキャリアデザインを形にすることができましたか？

皆さんは本学独自の専門職中核的人材育成教育に、最先端 IT 業界、医療・福祉や幼児教育・保育等の第一線の各業界人の指導も受け、**産学連携で実践的職業教育プログラムにより育成されたスペシャリスト**として社会へ旅立つところまできたのです。これからはしっかりと社会的責任を自覚し、社会評価を得て、本学の教えでもある「**仕事を通して自己実現を図る**」の具現化、プロフェッショナルとしてその道の達人を目指すのです。

社会が求める人材



資源が乏しい我が国は、超少子高齢化、人口減少に伴う労働力人口の減少がみられ、「**人材**」の育成と確保こそが、今後の経済成長や国際競争力、地域の産業振興を決定づける最大の要因となり、

- ① 産業構造の変化に対応できる「**実践的な職業能力を有する人材**」、
- ② 将来にわたり「**付加価値を創出する質の高い人材**」、
- ③ 労働力のグローバル化が進展するなか「**国際的にも高く評価される専門知識・技能を有する人材**」

などの**社会基盤**を支える「**ヒトづくり**」が急務といわれる。

しかも、少子・高齢化が進み、日本の総人口は 2007 年 1 億 2800 万人をピークアウトに、高齢者率 20%（うち後期高齢者 8%）、生産年齢人口（「国の力」といわれる）60%が、2050 年には総人口 9,500 万人、高齢者率 40%（うち後期高齢者 25%）、生産年齢人口 50%と減少し、そこに働く人材にはより高度な職業能力が求められる。

そして、第 4 次産業革命といわれる新たなビジネス領域創出手段として、あらゆるものがインターネットにつながる **IoT**、**ビッグデータ**や**クラウド**、**AI** の利活用、時代の流れに適応した「**働き方革命**」の推進や地域連携が求められている。

このような時代において本学の教育は、如何に社会の人材ニーズを的確に読み取り、社会が期待する人材育成に役立ていかを使命としている。

本学では「**全人教育**」を根幹として、「**建学の精神**」である創設者の教育理念を継承し、「**パイオニア(開拓者)の精神**」を基調とし、益々高度化する現代社会の変化に対応、更に**試行錯誤**の中から**クリエイティブな精神**を培い、**独立自尊**以って広く**国際社会に貢献する人格の形成**を重点とする。」「**具現化：大いなる飛躍の為には、より恵まれた環境(人的・物的)があつてこそ 21 世紀を担う、若人の夢の実現を可能とする。**」また、

「**技術は力なり、我は我が道を行く。How to 人間でなく、Why 人間の育成**」の「**校訓**」を指導目標にして、その上に、学生たちが社会に出てから困らない**社会人基礎力**に**問題解決能力**と**専門性**を身につけた**人材育成**を目指し、学生たちが**職業人**として、**真の技術のスペシャリスト**であるとともに、**人間性豊か**で、「**日本人としてのアイデンティティ**」を持った 21 世紀を担う**社会人**として、時代に即応した **ICT 化**、**超少子・高齢化**、**グローバル化時代**に通じる**職業人の育成**に尽力してきた。

その結果、創立以来就職決定率 100%を誇れるのも、当学園の教育内容に対する社会的評価といえる所以であると自負し、専門学校創立以来 31 年、すでに 5,000 名の有用なる人材を社会に送り出し、今年も就職決定率 100%があと一歩まできた。

また、文武両道を目指す運動部の対外成績では、静岡県専門学校大会で頑張ったがバレーボール部はリベンジならずの男子 3 位、女子入賞。サッカー、野球部も同様に入賞。今年も頑張りました！

海外研修・修学旅行は専門学校静岡電子情報カレッジは **ICT** や**エンターテイメント**のメッカ、**アメリカ西海岸シリコンバレー**と**ハリウッド**で、**フェイスブック**、**グーグル**、**インテル**等をはじめとする**世界有数の企業**や**現地の IT 系・ビジュアル系専門学校**等を訪問し、最先端テクノロジーに見聞を広めることが出来た。

静岡福祉医療専門学校は多民族社会における**医療・福祉・教育分野**における**先端の地**ハワイで、**多民族文化**や**伝統**に触れ、また、**ハワイ大学生**との交流セミナーにおいて、**国際的視点**に立つての**有意義な研修**を積むことができ、**貴重な体験**をさせていただいた。必ずや**今後のグローバル社会**の中で**大いに役立つ経験**であり、**日本の良さを強く感じ**、**友人との絆**もより**深まり**、**よき思い出**となったことだろう。

さて、**I was born.Keep alive.**「人は、生まれ、生かされて

いる」、
「人は誰もが、無限の可能性を秘めている」ゆえに「日本人としての**アイデンティティ**を持ち、**仕事を通して自己実現**を図る」と**職業教育**を熱い心で教え、「**人づくり 60 年**」の**生涯教育者**であった本学園創設者の教えを卒業後の**社会生活**の中でも活かし、「**りっぱな日本人**」になっていただきたい。

これから社会に出ても、本学の教えである、常に何事に対しても、日々「**前向きな気持ち**」を忘れずに、「**試行錯誤**」の中から「**自己実現**」を図り、「**これだけの事をやったんだ**」という「**自信**」と「**誇り**」を持って、君たちの時代を築いてください。

そして、たまには**学校**に寄って、**元気な顔**を見せて下さい。
近況報告を楽しみにお待ちしております。

それでは、**健康**には十分留意され、

君たちの**新たな旅立ち**に、**心より幸多きこと**を祈る！



Bon Voyage!



先生方からのメッセージ

教頭・教育部長 有賀 浩

卒業おめでとう！

巷には一段と外国人が増え、世の中は第 4 次産業革命の真つただ中。新聞紙上には毎日欠かさず **AI**、**IoT** のキーワードが溢れかえっている今。急速に進む**技術革命**と**超少子化**、**超高齢化**。そこに新たな「**付加価値**」を創造しない限り、どの分野も**生き抜いていく**ことはできません。

4 月から**プロフェッショナル**としての**人生**を歩み始める卒業生の皆さん。如何なる時代にあつても、本学の「**全人教育**」を通して身につけた、**元気よく笑顔**で心から湧き出す「**挨拶**」で、**明るい未来**を築き、**大きな幸せ**をも創造して行って下さい！

いつまでも**夢**を失わず、**確かな信念**と**技術**を**人生の軸**とし、**校訓**「**技術は力なり、我は我が道を行く**」、**仕事**を通して常に**自己**を成長させて行って下さい。

みなさんの**笑顔**に**再会**できる日を楽しみにしています！



進路室長 橋野 幸男

「これまで」が「これから」を決めるのではなく、「これから」が「これまで」を決める。理論物理学者・佐治晴夫先生の言葉です（惑星探査機「ボイジャー2号」にバッハ「プレリュード」の搭載を提案した方です）。

よく、「過去・現在・未来」といいますね。この時間の流れから考えると、「これまで」が「これから」を決めると思うかもしれませんが、でも、いま皆さんが思い浮かべている過去は、脳の中にメモリとして残っているものに過ぎず、実在しているものではありません。とすると、これからどのように生きるかによって、過去の価値は、新しく塗り替えられることとなります。未来が過去を決める、「これから」が「これまで」を決めるのです。

人生というのは、編集作業に似ています。素敵な物語を、美しい唇としてつくっていききたいですね。

皆さんの母校での研鑽・成長が今後の人生にどのように活かされ、そして、その母校がどのような「母港」として描かれるようになるのか、楽しみにしています。

事務長 寺田 剛敏

卒業おめでとうございます。2年あるいは3年前に皆さんは希望に胸を膨らませて本学の門をくぐりました。そして今、まさに卒業を迎えようとしています。皆さんが体験してきた最後の学生生活はいかがでしたか。私は、皆さんひとりひとりが思い描いていた生活を過ごすことができたことと確信しています。皆さんが学校生活で得た体験に何一つ無駄なことはありません。どんな些細なことであってもこれからの社会生活に必ず役にたつはず。社会生活は今までとは違って厳しい試練が待ち受けていることと思いますが、本学で学んだこと、身につけたこと、そして多くの仲間たちがいることを支えに乗り越えて行ってください。

皆さんが大きく成長して、本学に顔を出してくれることを願っています。

映像・音響デザイン学科 2年担任 五味 正太郎

まずは、皆さんご卒業おめでとうございます。これから社会に行く皆さんに1つの言葉を贈ります。「消え去るより、燃え尽きた方がよい」これはミュージシャンのカート・ドナルド・コバーンの言葉です。きっと社会出れば、今と比べものにならないほど辛いことが多くあると思います。辞めてしまおうと考えることもあるはず。ですが、ここで諦めてしまえば、何も得られません。実際、人間は壁を乗り越えたときにこそ大きく成長するものです。勉強ができること、仕事ができることも大切なことですが、ここからの人生で一番大切なことは人として成長して行くことなのではないかと思えます。社会に出てそれぞれが人間として大きく成長し、また顔を見せてくれることを楽しみにしています。また会いましょう！

ロボット創造学科・ゲーム応用学科 2年担任 中村 健太郎

卒業年次の皆様、ご卒業おめでとうございます。今までの学生生活で学んだすべては社会に出ても役に立つことだらけです。

しかし、今までに学んだことだけでは社会ではやっていけません。必ずどこかで壁にぶつかります。

自身ではわからないこともいっぱいあります。その際は、職場の先輩や仲の良い友達、親 etc にどんどん相談をしましょう。また、私たち教職員を再度頼ってください。まだ私も社会人としては駆け出しの身であるけども、何か手助けができるかもしれません。ただ遊びに来て最近の出来事を話してくれるだけでもこちらとしては歓迎です。

皆さんの今後のご活躍を期待しています。頑張ってくださいね！！

総合福祉学科学科長 3年担任 磯野 博

「遠回りの人生」を歩む ～卒業生に贈る言葉～

3TWの皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年度は、介護福祉士養成校の学生が最初に国家試験を受験するという大きなハードルがありましたが、皆さんの努力によってそれも見事に乗り切ってきました。売手市場とはいえ、厳選採用傾向にある福祉・介護分野において、年明け早々には全員が内定を勝ち取り、本学科の特徴である各種地域活動では、子育てママ支援活動、生活困窮家庭児童生活支援活動、そして、大道芸ワールドカップ ノーマライゼーションスタッフ活動という新たな活動を加えることができました。これらは大きな成果であるとともに、皆さんの今後の人生にとって財産になるものであると確信します。

さて、皆さんがこれから巣立つ社会は、超少子化・超高齢化・人口減少が加速するという近代社会がいまだ体験したことがない状況にあります。自ずと、これまでよりスピードと効率性が求められ、人の1.2倍・1.3倍の能力を発揮しなくてはなりません。それを補うため、IOTやAIの進展が目まぐるしいこともご存知のとおりです。ちょっと考えただけでも目が回りそうです…。

そのような時代だからこそ、私は敢えて「遠回りの人生」を歩むことを心掛けています。これは、私の実家の母が亡父のことを思い出しつつ、私によく口ずさむ言葉です。

「時代の流れを見極めつつも時代に流されるのではなく、自らの足元とともに、時代の流れに飲み込まれ、取り残される人々のことを慮る」、福祉・介護に携わる専門職には求められる志ではないかと私は考えます。

私たちに感動を齎した平昌冬季五輪の金メダリスト、小平奈緒も、

インド独立の父、マハトマ・ガンディーの「永遠に生きるかのように学べ、明日死ぬかのように生きる」という言葉を引用しつつ、自らの「遠回りの人生」を語っていることは大きく報道されていました。皆さん、人生に迷い、仕事に行き詰まったとき、本学の先生方や「心の友」たちの笑顔とともに、この「遠回りの人生」を思い出してもらえると嬉しいですね。そして、ふと母校に足を運んでみて下さい…。そこには何かがありますよ！

皆さんの人生が、栄光と反映に満ちたものであることを祈念しております。

介護福祉学科 2年担任 伊藤 知圭子

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

希望と不安の入り混じった思いで迎えた入学式から、駆け巡るように学校生活が過ぎていきました。特にこの1年は2回の長期実習、就職活動、学校行事、そして国家試験と、本当にあつという間でした。一つひとつに喜怒哀楽があったでしょう。同じ志を持った仲間との出会い、仲間と共に前へ進んだ時間、心に残る思い出、身につけた知識技能、全てがかけがえのない財産です。これから歩む人生、つらいこともあると思いますが、どんな時でも自分を信じて前へ進んでください。そして未来を切り拓いてください。皆さんの幸福を祈っております。

子ども心理学科 3年担任 山下 あやね

ご卒業誠におめでとうございます。

学校での学びはもちろん、これまでの実習やボランティアでの経験が、みなさんを大きく成長させてくれたことと思います。家族や友人、周りの人に感謝する気持ちを忘れずに、4月からそれぞれの場所で頑張ってください。

社会人になると、これまでと比べ物にならないほどの責任が出てきます。それは保育・教育に関わる職業においては、子どもたちの命を預かりその人生に影響を与える責任でもあります。初めからうまくいくことばかりではないと思います。それでも、謙虚に真つすぐに向き合っていればきっと道は開けていきます。ぜひ実り多い人生を自らの手で切り開いていってください。

みなさんのご活躍を心よりお祈りしています。

医療情報秘書科学科長 2年担任 富田 順子

ご卒業おめでとうございます。いよいよ社会への第一歩を踏み出す時となりましたね。これからの人生、たくさんの人との出会いと通して、いろいろなことを感じ、学びそして影響を受けながら年を重ねていくこととなります。迷ったり、自信をなくしたりするときもあるかと思いますが、決して自分を見失わないで、まず、自分の力を信じてみてください。お互いに、より一層輝ける日が来るように頑張っていきましょう。皆さんの今後の活躍を楽しみにしています。